### 木製品資料の調査結果について

令和5年4月28日に中村町駐在事務所(神奈川県埋蔵文化財センター)で実施した木製 品資料の調査結果について次のとおり報告します。

### 1 調査資料

木製品資料 17 点を調査した。そのうち、6点(No.532 は墨文字、No.475・476・387 は墨痕(文字ではない)、No.778・6 号溝No.110 は焼印の印影の可能性がある資料)は目視で墨痕等の可能性がある痕跡を確認している資料、残りの11点は目視で墨痕等を確認できていないものの形状(薄い板状)から、墨痕が存在する可能性がある資料である。

### 2 調査結果

17 点の木製品資料(裏表)について、赤外線カメラを用いて墨痕等の有無を確認した。その結果、目視で墨痕等を確認している木製品 6 点については、赤外線カメラにおいても同様の位置に墨痕の可能性がある痕跡を確認し、その部分以外の痕跡は確認できなかった。墨痕等の内容については、目視で確認したものと同様でNo.532 は墨文字(判読不可)、No.475・476・387 は墨痕(文字ではない)、No.778・6 号溝No.110 は焼印の印影の可能性がある資料であった。残りの 11 点は墨痕等を確認できなかった。

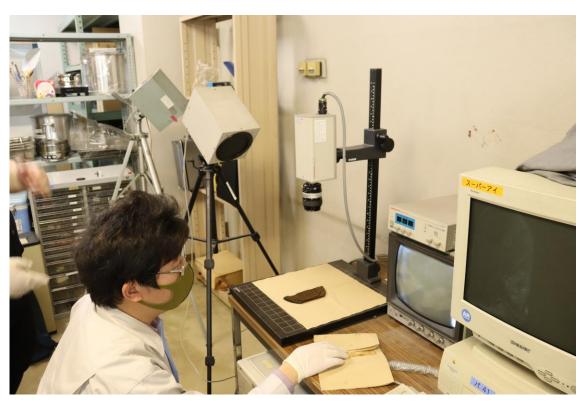


写真1 調査状況



写真 2 No.532 の赤外線カメラモニター画像 (赤線内に文字の一部)



写真3 No.532 の赤外線カメラ調査状況

### 木製品資料等の第2回調査結果について(追加報告分)

令和5年4月28日に実施した中村町駐在事務所(神奈川県埋蔵文化財センター)での 木製品資料の調査結果を踏まえ、令和5年6月12日に国立歴史民俗博物館で第2回調査 を行いましたので、次のとおり報告します。

### 1 調査結果

資料	歴博	埋文センター	備考
No.551 ・墨確認できず		・墨確認できず	
	・「ササラ」か		
No.475 • 476	・カメラ反応あり	・カメラ反応あり	三上先生スケッチ参照
	・墨かどうかは何と		
	も言えない		
No.393	・特になし	・墨確認できず	
No.520	・墨確認できず	・墨確認できず	
No.272	・墨確認できず	・墨確認できず	三上先生スケッチ参照
	・桧扇の可能性あり		
7 号畦No.777	・墨なし	・墨確認できず	
No.387	・墨ではない	・墨のような痕跡有	
6 号溝No.110	・「山」と読める	・印影あり	三上先生スケッチ参照
	・焼け火箸のような	・墨はなし	
	ものでつけたか。		
No.532	・赤外線カメラでは	・墨文字を確認	三上先生スケッチ参照
	不明瞭だったが、肉		
	眼で墨を確認		
	・根拠はないが「巻」		
	「券」「読」「請」な		
	どの可能性もあり		
	・スペースがあるに		
	も関わらず、一部分		
	にしか文字がないの		
	が不可解。メモ的な		
	使い方か。		
No.778	・「山・十」の組み	・印影あり	三上先生スケッチ参照
	合わせか「廾」か	・墨はなし	
	・墨書土器7号畦2		

	34の「山・十」と		
	同じか		
No.413	・墨なし	・墨なし	三上先生スケッチ参照
No.776	・刀形木製品か	・墨なし	三上先生スケッチ参照
	・2号木簡と同形か		
No.325	・棒ササラか	・墨なし	三上先生スケッチ参照
No.517 · 518	・特になし	・墨なし	杓子形
No.383	・墨なし	・墨なし	
墨書土器 7 号畦No.	・「山・十」の組み		三上先生スケッチ参照
234	合わせ	_	
	・全域778と同文	_	
	字か		
墨書土器 6 号畦No. 4	・「市」か		三上先生スケッチ参照
2	・「山・十」の組み	_	
	合わせの上部の可能	_	
	性もあり		

#### (その他)

- ・板状とした木製品のなかには片面が調整、片面が未調整など祭祀遺物に見られる特徴が ある
- ・刀形木製品や「ササラ」の可能性のある木製品など祭祀的な要素がある
- ・木製品にある印影は文字と捉えられる

### 2 まとめ

2回にわたる調査によって、No.5 3 2 は「木簡」である可能性が高まった。判読できる部分が少ないため資料的な評価は難しいが、第 1 次調査、下水道調査、第 4 次調査に引き続き第 8 次調査地点においても「木簡」が出土した意義は大きい。また祭祀的な性格を有する木製品が存在することが指摘されたことは、「放生」田との関連や周辺に公的施設の存在が指摘される居村 B 遺跡が通常の生産域とは異なる性格を有していたことを追認している。改めて出土木製品の観察を行う必要がある。新出の印影資料については、さらなる資料調査を要するが群馬県の高島氏が指摘しているように①同遺跡出土の墨書土器に類似する字形があることが改めて確認され、②「集団の標識的文字」として捉えられる可能性を有している。

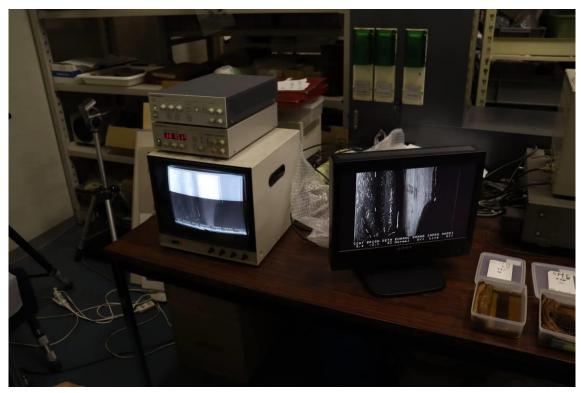


写真 1 No.532 の赤外線カメラモニター画像



写真 2 三上先生資料確認

# 4月28日 赤外線カメラ 資料一覧

全域

遺物	<b>₩</b> 11 18	1手口(199 五人)	トレハ	<del>-</del> -	上·3
遺物 番号	グリッド	種別(器形)	ロース	重要	備考
551	_	木簡		0	
475	-	板状		0	写真、墨書、476と接合
476	_	板状		0	写真、墨書、475と接合
532	-	板状		0	焼けている、墨書
778	_	板状		0	焼き印か
387	_	桶底		0	写真、墨書
413	-	板状			先端を加工
776		板状		0.0	写真
272	_	板状			穴一箇所
393	-	板状			刻み目あり
520	_	板状	2		写真
325	_	板状			複数の刻みを持つ
383		付け札状			
517	_	杓子	+		写真、518と同一個体
518	_	杓子			写真、517と同一個体

6号溝

遺物 番号	グリッド	種別(器形)	トレハロース	重要	備考
110	_	板状			掘方

7号畦

遺物 番号	グリッド	種別(器形)	トレハロース	重要	備考
777	_	板状			掘方、穴1箇所



## 全域 475-476



全域 393



全域 520



全域 272



7号畦 777



全域 387



6号溝 110



全域 532





全域 413



全域 776





### 全域 517-518



